日・マーシャル諸島首脳共同声明（概要）
～チバン ドゥルーン・キズナ・パートナーシップ～

2026年11月
大洋州課

（※）チバン ドゥルーンは
マーシャル語で「互いに助け合う」の意味

＜地域の平和と繁栄のための両国協力＞

- 「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」の実現に向けて協力していくことを確認。
- 両国共に平和国家として一貫して歩んできたことを確認し、今後も国際社会の平和のために積極的に貢献するとの決意を共有。
- 日本の「国家安全保障戦略」を始めとする三文書の改定を歓迎。
- 力又は威圧による一方的な現状変更の試みに対して、強い反対を表明。

＜二国間協力の強化＞

（※）政府安全保障能力強化支援

- **平和と安全保障**：海上保安能力強化やOSA（※）等も通じた安全保障分野の協力の拡大。
- **開発協力**：漁業、農業、保健、金融面での日本の取組を歓迎。
- **気候変動**：エネルギー移行や防災分野における強靱性に資する協力の深化。
- **未来志向の関係促進**：過去に関する課題（遺骨収集等）への協力を継続。

＜地域・国際場裡での協力＞

- 第11回太平洋・島サミット（PALM11）に向けた連携。ハイネ大統領のPALM11出席表明。
- 急速かつ不透明な軍事力増強及び最近のSLBM発射実験に対する懸念を表明。
- 核・ミサイル問題への対応、拉致問題の即時解決を含む北朝鮮への対応で連携。
- 非市場的政策・慣行、経済的威圧への懸念を表明。サプライチェーン強靱化に向けて連携。
- 安保理改革の緊急の必要性を強調。日本含むG4の常任入りへの継続的支持を表明。

＜結語＞

- 外交関係樹立40周年（2028年）を見据え、「チバン ドゥルーン」及び「キズナ」に基づき関係強化。